

経営概要書

法人名：

公益財団法人 秋田県生活衛生営業指導センター

(公益3)

1 法人の概要

| | | | |
|---------------|--|-------------|------------------------------|
| 代表者職氏名 | 理事長 齊藤 育雄 | 所管部課名 | 生活環境部生活衛生課 |
| 所在地 | 秋田市旭北栄町1-5 | 設立年月日 | 昭和55年4月17日 |
| 電話番号 | 018-874-9099 | ホームページ | http://www.akita-seiei.or.jp |
| 主な出資 (出捐)者 | 出資(出捐)者名 | 出資(出捐)額(千円) | 出資(出捐)比率(%) |
| | 秋田県 | 1,500 | 28.2% |
| | 秋田市 | 700 | 13.2% |
| | その他14団体 | 2,810 | 52.9% |
| | (公財)秋田県生活衛生営業指導センター | 300 | 5.6% |
| 合計 | 5,310 | 100.0% | |
| 設立目的 | 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づき、生活衛生関係営業の経営の健全化及び振興を通じて衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者及び消費者の利益の擁護を推進するための相談指導機関として設立された。 | | |
| 事業概要 | 主に各種経営相談・経営指導、生活衛生関係営業に関する講習会等、クリーニング師研修会及びクリーニング所の業務従事者の講習会、日本政策金融公庫融資の指導、標準営業約款の登録推進等を行う。 | | |
| 事業に関連する法令、県計画 | 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律 | | |

2 令和元年度事業実績

相談指導・後継者育成支援・健康福祉対策推進事業等の補助事業及び日本政策金融公庫融資の指導やクリーニング師研修・クリーニング業務従事者講習等の各種事業は、順調に推進することができた。相談件数は目標の概ね100%であったほか、前年度から回復傾向にあった経営改善資金特別貸付は新型コロナウイルス感染症対策の影響で件数で前年比145%、金額で180%と大幅に増加した。

<事業目標>

| 項目 | 区分 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------|----|--------|--------|-------|-------|
| 相談件数(件) | 目標 | 430 | 430 | 430 | 430 |
| | 実績 | 405 | 427 | 513 | — |
| 顧客満足度指数 | 目標 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績 | 93 | 93 | 93 | — |
| 研修会、講習会等への参加人数(人) | 目標 | 400 | 400 | 400 | 400 |
| | 実績 | 452 | 433 | 477 | — |

3 組織

①役員数(R2.7.1現在)

(単位:人)

| 区分 | 理事 | | 監事 | | 評議員 | | 役員報酬 |
|--------|----|----|----|----|-----|----|---|
| | R1 | R2 | R1 | R2 | R1 | R2 | |
| 常勤 | 1 | 1 | | | | | 支給対象者 (R1年度) — 人 平均年齢 — 歳 平均報酬年額 (R1年度) — 千円 |
| 内、県退職者 | 1 | 1 | | | | | |
| 内、県職員 | | | | | | | |
| 非常勤 | 6 | 6 | 2 | 2 | 7 | 6 | |
| 内、県退職者 | | | | | 1 | 1 | |
| 内、県職員 | | | | | | | |
| 計 | 7 | 7 | 2 | 2 | 7 | 6 | |
| 内、県関係者 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | |

②職員数(R2.4.1現在)

(単位:人)

| 区分 | R1 | R2 | 正職員 |
|--------|------|------|----------------------------|
| 正職員 | 4(1) | 4(1) | |
| 内、県退職者 | 3(1) | 3(1) | |
| 出向職員 | | | 平均勤続年数 2.8 年 |
| 内、県職員 | | | |
| 臨時・嘱託 | | | 平均年収 (R1年度) 2,591 千円 |
| 内、県退職者 | | | |
| 計 | 4(1) | 4(1) | |
| 内、県関係者 | 3(1) | 3(1) | |

※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示している。

③理事会回数

| | | | |
|--------|---|-------|---|
| 平成30年度 | 3 | 令和元年度 | 2 |
|--------|---|-------|---|

4 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

| 区分 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------------|--------|--------|
| 經常収益 | 17,477 | 17,597 |
| 基本財産・特定資産運用益 | 1 | 1 |
| 受取会費・受取寄附金 | | |
| 受託事業収益 | 2,418 | 2,258 |
| 自主事業収益 | | |
| 受取補助金・受取負担金 | 15,058 | 15,338 |
| その他の収益 | | |
| 經常費用 | 17,269 | 17,523 |
| 事業費 | 15,591 | 15,628 |
| 管理費 | 1,678 | 1,895 |
| 人件費(事業費分含む) | 11,758 | 12,078 |
| 当期經常増減額 | 208 | 74 |
| 經常外収益 | | |
| 經常外費用 | | |
| 当期經常外増減額 | | |
| 当期一般正味財産増減額 | 208 | 74 |
| 当期指定正味財産増減額 | | |
| 当期正味財産増減額合計 | 208 | 74 |

②貸借対照表

(単位:千円)

| 区分 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------|-------|
| 流動資産 | 5,006 | 4,624 |
| 固定資産 | 5,370 | 5,370 |
| 資産計 | 10,376 | 9,994 |
| 流動負債 | 640 | 185 |
| 短期借入金 | | |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | | |
| 負債計 | 640 | 185 |
| 指定正味財産 | 5,310 | 5,310 |
| うち基本財産充当額 | 5,310 | 5,310 |
| 一般正味財産 | 4,426 | 4,499 |
| うち基本財産充当額 | | |
| 正味財産計 | 9,736 | 9,809 |
| 負債・正味財産計 | 10,376 | 9,994 |

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

| (単位:千円) | | | |
|----------|------|-----|--------|
| 退職給与引当状況 | 要支給額 | 引当額 | 引当率(%) |
| | | | |

※中小企業退職共済制度へ加入している。

<主な経営指標>

| 項目 | 算式 | 平成30年度 | 令和元年度 | 増減※ |
|---------|--------------------|--------|---------|---------|
| 經常収支比率 | 經常収益÷經常費用×100 | 101.2% | 100.4% | △0.8 |
| 流動比率 | 流動資産÷流動負債×100 | 782.2% | 2499.5% | 1,717.3 |
| 自己資本比率 | 正味財産計÷負債・正味財産計×100 | 93.8% | 98.1% | 4.3 |
| 有利子負債比率 | 有利子負債÷正味財産計×100 | | | |

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

5 県の財政的関与の状況

| 区分 | 平成30年度 | 令和元年度 | 支出目的・対象事業概要等 |
|---------------|--------|--------|---------------------|
| 年間補助金 | 14,658 | 14,958 | 生活衛生営業指導センター補助金 |
| 委託費 | 99 | 99 | 日本政策金融公庫融資に係る推薦事務委託 |
| 指定管理料 | | | |
| 貸付金 | | | |
| 損失補償 | | | |
| その他の財政支出(基金等) | | | |

I 自己評価

| 1 公共的役割 | 2 組織体制 | 3 事業実施 | 4 財務状況 |
|---|--|---|--|
| A 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律第57条の4第1項各号に掲げる事業並びにクリーニング業法第8条の2第1項に規定する研修及び講習を実施している。 | A 理事会及び評議員会は、定款に定められた時期に必要な回数を実施している。常勤役員は毎回、理事会及び評議員会に出席している。また、事務局長を兼務している専務理事を含め、正職員4名が常勤している。 | A 研修会・講習会等への参加人数及び相談件数は目標を達成しており、顧客満足度指数についても、概ね目標を達成している。 | A 公益財団法人として収支相償基準を達成しながら、当期経常増減額は74千円のプラスとなっている。また、経常収支比率は、0.4%と概ね収支均衡を保っており、一般正味財産も4,499千円あることから、財産基盤の健全性が確保されている。 |

II 所管課評価

| 1 公共的役割 | 2 組織体制 | 3 事業実施 | 4 財務状況 |
|--|---|---|--|
| A 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律第57条の3の規定に基づき、秋田県知事が指定した組織である。 | A 定款に定める開催回数を上回り、評議員会を2回開催し、理事会を2回開催している。専務理事は事務局長を兼務し、生活衛生営業指導センターの経営・運営を担っている。 | A 研修会・講習会等への参加人数及び相談件数は目標を達成しており、顧客満足度指数についても、概ね目標を達成している。 | A 経常ベースの単年度損益が経常収支比率+5%の範囲内であり、収支均衡が保たれていると認められる。 |

III 外部専門家のコメント

当年度も引き続き収支構造に変化はない。県からの補助金と受託事業が主な収益である、支出は人件費が大部分であるが、全体的にも収益に見合った支出が行われており、毎期収支は均衡している。貸借対照表の資産も流動・固定ともに預金が大部分であり、負債もほとんどない。資産規模は小さいものの、財務基盤に問題はなく、安定経営が行われている。なお、正職員4人のうち事務職員を除いた3人は、県の退職者である。

IV 委員会評価

| 1 公共的役割 | 2 組織体制 | 3 事業実施 | 4 財務状況 |
|---|---|---|--------------------------------------|
| A 三セクの行動計画上は「県が実施すべき事業を主たる事業とする法人」に位置づけられている。衛生法に基づく県の生活衛生営業指導センターとして法定事業などを実施しており、公益性は高い。 | A 常勤の役職員が配置されており、法人運営上の組織体制は整っていると認められる。 | A 相談件数及び研修会、講習会等への参加人数はともに目標を達成しており、顧客満足度指数は目標値を若干下回る達成率となったが、事業は適正に実施されていると認められる。 | A 経常ベースでの収支均衡は保たれており、財務基盤も安定している。 |

V 前年度委員会評価

| | | | | | | | |
|---------|---|--------|---|--------|---|--------|---|
| 1 公共的役割 | A | 2 組織体制 | A | 3 事業実施 | B | 4 財務状況 | A |
|---------|---|--------|---|--------|---|--------|---|

評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組（概要）

クリーニング師や経営特別相談員、生衛業者等を対象とした各種研修会及び講習会等については、参加者の確保のため、昨年度と同様に県や市と協力して案内を行ったほか、参加者が受講しやすい日程に設定したり、受講者に興味を持ってもらえるようなテーマ、講師を選定するよう工夫に努めている。相談件数、顧客満足度指数については、昨年度と同様に経営指導全般について専門知識を有するスタッフにより丁寧に取り組んでおり、回数を積み重ねてきた結果が現れたものと考えられる。